

**人吉高等学校五木分校 平成28年度学校評価表**

<b>1 学校教育目標</b>
<p>ア 本校の綱領「礼節」「勤労」「進取」の精神を念頭に、全職員一体となって愛情と信頼を基調とした教育を実践し、心豊かで調和のとれた、社会に貢献できる人間の育成を図る。</p> <p>イ 豊かな自然環境の中で、豊かな人間性と健康な体を育み、自信と誇りをもった澁刺とした生徒の育成を図る。</p> <p>ウ 小規模校としての特長を最大限に生かし、生徒一人一人の個性を伸ばすとともに、特色ある学校づくりを実践する。</p>

<b>2 本年度の重点目標</b>
<p>教育スローガン「一人一人が輝く分校生！」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業改革に取り組み、基礎学力の充実を図る。</li> <li>2 生徒指導の充実を図る。</li> <li>3 進路指導の充実を図る。</li> <li>4 多様な生徒への対応に努める。</li> <li>5 地域に根ざした特色ある取組を推進する。</li> </ol>

<b>3 自己評価総括表</b>						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	信頼される学校づくり	広報活動の充実	分校ニュースを職員が輪番で担当して年11回発行し、学校行事等での生徒の頑張りを情報発信する。	毎月、分校ニュースを保護者、地域機関、出身中及び学校評議員に配付し、ホームページに掲載する。 ホームページを毎月複数回更新し内容を充実させる。	A	期限内に関係機関に配付し、分校の情報発信源として機能した。特にホームページは更新が増えるとともに内容が充実し、生徒の学校生活の様子が分かりやすいと好評であった。県下ICTコンテストに於いて、『NEXT熊本賞』を受賞したことは特筆に値する。学校紹介のパンフレットも中学生や保護者に大好評であった。
		ボランティア活動の充実	学期に1回以上、年5回以上、全校生徒・職員で地域貢献のための環境美化活動や交通指導を行う。	定期考査最終日及び夏休みに、五木分校周辺の清掃・美化活動を、月初めの早朝に交通指導を行う。	A	計画通り環境美化活動も交通指導も行うことができた。地域貢献のため今後も継続していきたい。
		五木秀麗会との連携強化	秀麗会総会・報告会の出席率100%を目指す。保護者との良好な協力関係を構築する。	保護者が参加しやすい日程を考える。担任と保護者間で密な連絡、相談等を行い、良好な協力関係を保つ。	A	昨年度より保護者全員に秀麗会役員になって頂いた。その結果、総会・報告会の出席率100%を達成するとともに秀麗会活動の活性化に繋がった。
		地域に密着した教育活動の充実	地元保育園・五木小学校・五木中学校との合	第4回保・小・中・高合同大運動会の円滑な運営を行う。	地元保育園・小学校・中学校及び各校種PTAと密接な連絡体制と連携を図る。	A

		同事業の充実	中・高交流、合同研修会や行事を充実させる。	救急講習、防災教育等の中学校との合同開催を実施する。		防災教育及び消防火避難訓練も協力して実施できた。様々な行事をとおして、中学校との交流を深め、進行等の役割を担うことで生徒の責任感と自主性の育成につながった。
		地域中学校との連携強化及び入学生徒数の確保	毎月1回担当職員が中学校を訪問する。平成29年度入学人数を2桁にする。	各中学校を分担して職員が担当し、連絡体制を強化する。学校説明会や体験入学を充実させる。マスコミ媒体を利用して、生徒募集に特化した宣伝を行う。	A	毎月の中学校訪問も定着し、中学校卒業生の状況報告もできた。体験入学では、本校生の活動の様子が引率者の先生方に感銘を与えていた。高校説明会も、ICTを活用して効果的にアピールすることができた。合同運動会をテレビ局に取材させるなど良い宣伝となった。
		五木村関係機関や団体との連携と行事等への協力	警察と連携した交通安全指導等への参加。分校でしか体験できない教育活動を展開する。年10週のあいさつ運動を実施する。	五木村で行われる交通安全運動、各種祭、駅伝大会等に生徒会を中心に積極的に参加する。地域との良好な協力関係を構築する。	A	あいさつ運動は、生徒会を中心に主体的な活動ができた。村主催の交通安全運動や駅伝大会にも積極的に参加し、五木村活性化の一翼を担った。
学力向上	教育課程	教育課程の検討実施	教育課程の編成・実施と管理	将来のビジョンに関する検討と進学指導体制の強化	A	生徒一人一人の進路先を十分に検討し、個に応じた指導体制を確立できた。
	基礎学力の定着	学校設定科目「ステップアップ」の充実	生徒間の競争意識の高揚を図り、全員が6段階以上の昇級を目指す。	全学年を3段階の習熟度別グループに分けTTによるきめの細かい指導を行う。振り返り学修を適宜導入する。	B	習熟度別に学び直しを行い、基礎学力の定着に有効であった。しかし、自ら学ぼうとする意欲の個人差が大きく、学習意欲の喚起が課題である。
	授業の充実	わかる授業の構築 授業時間の確保 研究授業の実施と研究会・研修会への参加	生徒の学力に応じた授業の工夫と個別指導を充実させる。授業の自習をゼロにする。各教科の職員が学期に1回以上研究授業を実施する。	各定期考査前に学習会を実施する。出張時の授業変更を確実にを行う。研究授業後の合評会の充実を図る。各種研修会へ積極的に参加する。	B	定期考査前の学習会や個人指導は充実していたものの、欠点者がでてしまった。全教職員が研究授業を実施し、授業の自習もゼロであった。各教科の担当者は1人であるため、教科指導力向上のためには校外での研修の機会が必要である。

キャリア教育	キャリア教育の充実	キャリアガイダンスの充実  「総合的な学習の時間」における系統的な進路学習と体験学習の充実	外部講師による進路学習を積極的に取り入れる。  自然体験学習を充実させ、社会生活に必要なコミュニケーション能力、思考力、創造力を身につけさせる。	進学、就職への講話や、社会生活に向けた学習を行う。  体験学習では学校全体で取り組み、生徒が主体性を持って取り組むような工夫を行う。	A	外部講師による就職決定までの流れや面接の受け方の指導、社会生活に向けての心構え等の講話を行った。体験学習でも、生徒一人一人が意欲的に取り組むことができた。
	個に応じた進路指導	各自の進路希望に応じた個別指導の実施	進路希望の100%達成を目指す。	個別面談を適宜実施し、個に応じた課外や面接指導を行う。関係諸機関との連携を図りながら個別指導と対応を充実させる。	A	全職員で協力して、個に応じた課外指導や面接指導を行った。その結果、2学期中に3年生全員の進路を決定することができた。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚	基本的な生活習慣の確立	自らの力で生活態度を向上させる態度を養う。	学習・生活の記録を毎日提出させる。保護者と連絡を密に行う。	B	学習・生活の記録から家庭での様子を知ることができた。家庭における基本的な生活習慣を育ませ、更に自立心を養いたい。
		規範意識の高揚	生徒会行事や学級活動等での団体行動や月例集会講話を通して、規律ある行動ができるような集団をつくる。問題行動、トラブル等を未然に防止する態度を養う。	交通安全、整容や言葉遣い、マナー等の向上に取り組む。  アンケート調査、生徒の日常観察等により、全職員で生徒の状況を把握し、トラブル等の未然防止に努める。	B	整容面での軽微な違反や、級友間での些細なトラブルはあったが、個別に指導することで規範意識の喚起はできた。特別指導事案はあったものの適切、迅速な指導で大きな成長が見られた。
	生徒の主体的活動の充実	生徒会活動の充実と部活動の活性化	全生徒が生徒会活動に参加する。部活動への加入率を100%とする。	全生徒が、生徒会の係を分担し活動を行う。生徒会による生徒総会、月例集会の運営を充実させる。部活動で、各種競技会等への積極的な参加を行う。	A	学校行事等では、責任感を持って企画・運営上の仕事に取り組む姿が増え、高く評価ができる。部活動加入率は目標の100%を達成することができた。また運動部・文化部ともに、各種大会や展示活動に積極的に参加することができた。
人権教育	個々の生徒に応じた適切な指導	生徒一人一人の状況把握と柔軟な対応	各学期1回以上、職員研修（生徒理解、特別支援等）を実施する。毎週の運営委員会で生徒の状況報告と実態把握を行う。	外部の専門家との連携を密にし、積極的な活用を図る。生徒理解のための資料を作成し、全職員が生徒個々の特性と現在の状況を理解して指導に当たる。	A	毎学期、支援会議を開催し、生徒の就職支援につなぐことができた。また、定期的にスクールカウンセラーによる職員研修を実施し、特性を持つ生徒への具体的な支援や理解を深めることができた。

育の推進		生徒と教職員、生徒同士、望ましい人間関係の構築	3年間を見通した人権教育LHRを計画的に実施する。各行事を通して、自尊心の定着とともにお互いを認め合うことができる生徒を育成する。	学年毎にテーマを設定してわかりやすい授業を行う。学校行事では、生徒全員がお互いに協力してつくりあげる取組を重視して計画させる。職員も参加して支援する。	A	保小中高合同運動会やボランティア活動をとおり、責任感とリーダーシップを養うことができた。他にも他学年や異校種との交流活動の機会を設定し、各所で互いを思いやり協調して活動する姿がみられた。
	「命を大切にすることを育む指導」	取組むとおした命の尊厳並びに他者の価値観を尊重する自尊感情の育成	指導プログラムを作成し、各学期「命を大切にすることを育む授業」やLHRを実施する。月例会集話等で思いやる心や強い心を醸成する。	各教科科目の授業で「命を大切にすることを育む」についての授業を行い、職員も参観する。LHR、総合的な学習の時間や月例会集話等を活用し、日頃から、「思いやる心」について触れた話等を行う。ボランティア活動の深化。	B	各教科において「命を大切にすることを育む」という観点で授業を実施したが、全職員が参観できるまでには至らなかった。特別活動や定例の月例会集話において、人権に対すること、健康に対すること、思いやる心や強い心を育むことなど、職員からの講話を毎回実施でき、大変有意義であった。
いじめの防止等	いじめ防止基本方針の着実な推進	いじめを許さない心を育む指導の充実	いじめ発生「0」を目指す。いじめにつながる学校全体の雰囲気を作る。毎日必ず生徒と会話をし、	全体指導と個別面談等を行い、いじめの未然防止に努める。月例会集話等で生活態度等について注意を喚起する。生徒の小さな変化を見逃さず迅速な対応を心がける	A	相談しやすい雰囲気作りを努めたことで、悩みや困り感に対し迅速に対応し、解消することができた。この取組には保護者からも高い評価を受けた。アンケート回答で、いじめ件数は「0」であった。
		生徒の状況把握と迅速な指導体制の構築	相談窓口の周知を行う。日頃の生徒間の行動観察と情報共有を図る。年3回の心のアンケートを実施する。外部の専門家を活用したいじめ問題対策委員会を毎学期、年3回実施する。いじめ防止基本方針を職員に周知する。	相談窓口は、合格者説明会・入学式・1学期始業式・五木秀麗会総会で生徒保護者に周知する。生徒相談係、担任の日常観察及び運営委員会報告等により、全職員が生徒の変化を把握した上で適宜対応する。いじめ防止に関する職員研修を行う。	A	心のアンケートをはじめ、普段の面談や悩み相談から知り得た情報を全職員で共有し、個々の事例に迅速かつ丁寧に対応することができた。健康観察やいきいき相談等を通じて、生徒の変化の早期発見に努め全職員で個々の事例に対応できた。外部の専門家を交えたいじめ問題対策委員会を実施し、職員の意識向上に努めた。スクールカウンセラーによるソーシャルスキル・トレーニングを全生徒が実施し自己理解を深めた。

職員研修	職員の資質の向上	職場での不祥事の根絶と職員の意識の高揚	分校職員の不祥事「0」を目指し、毎学期、不祥事根絶のための校内研修を実施する。職員朝会で適宜職員としての規範意識の高揚を図る。互いの言動に目を光らせ、教育目標達成に向け一丸となる。	毎日の職員朝会要項に本校教育目標を掲げるとともに、不祥事0の継続日数を表示する。職員朝会で適宜不祥事の事例を紹介し、注意を喚起する。  積極的にコミュニケーションを取り合うことで情報や悩みを共有する。	A	これまでに「不祥事防止研修」を始め、校内研修を8回実施してきた。朝会等で定期的に不祥事の注意喚起を行うことで、意識の高い集団になっている。また、同僚に対し相談しやすい雰囲気作りに努めたことで、教育に対する喜びや悩みを共有できている。職務上のストレスを抱えている教職員はいなかった。
------	----------	---------------------	--	--	---	--

<h4>4 学校関係者評価</h4>
<p>1 学校評価表（自己評価）の内容や評価について</p> <p>(1) 学校教育目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五木分校、本校全日制、定時制共に統一され整合性が保たれており、さらに五木分校特有の内容が付加され格調高く分校の校風にふさわしい内容となっています。今後もこのスタイルを継続してほしいです。</li> <li>小規模校であることで、生徒一人一人の個性を伸ばすことができおり、素晴らしい。</li> <li>理想的で良い目標である。</li> <li>素晴らしい。分校でないとできない教育目標です。</li> <li>生徒への思いやり、取組等適切である。</li> <li>学校教育目標の具現化のため、小規模校の特徴を活かした5項目の重点目標が設定されており、目標が達成できている。</li> <li>内容、評価とも適切である。</li> <li>本校の綱領の精神を念頭に小規模校として生徒一人一人の個性を伸ばし、豊かな自然環境の中、豊かな人間性と健康な身体を育み社会に貢献できる人間の育成という素晴らしい目標である。</li> </ul> <p>(2) 学校評価の内容や方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容や方法は適切であると思います。職員の評価項目の数も整理統合されています。</li> <li>アンケートの各項目が細かく正確に分析してありとても良かった。</li> <li>アンケートで「授業を受けて生徒は学力が向上している」の項目では先生方は自信を持ってもっと高く自己評価されても良いのではと感じます。</li> <li>分校の情報や特徴を取り入れとても具体的な評価内容だと思う。アンケート項目も見やすく評価参考としやすい。</li> <li>それぞれの部署でとても頑張っておられると感じた。</li> <li>内容、方法ともに適切であると思います。「先生に悩みを相談できる」の質問で保護者の評価と生徒の評価にずれがあるのが気になりました。</li> <li>適切な評価がされている。少人数という事で、生徒などの個人的意見の提示も参考になるのではないか。</li> <li>適切である。現行通りでよい。</li> </ul> <p>(3) 学校評価の結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容、評価ともに適切であり、評価結果も良好であると思います。地域に密着した教育活動は五木分校の魅力、特徴でありそれが充実していることは大変素晴らしいと思いました。</li> <li>生徒数が少ないので結果数値が必ずしも万全ではない事を考慮し検討する必要がありますが、数値は数値としてみた場合、成果と課題が浮き彫りになっています。課題の改善策は十分わかる内容となっています。</li> <li>家庭学習について生徒の意識が変わってくれたらと思います。</li> <li>先生と保護者の信頼関係があり、生徒にも良い影響があると思います。</li> </ul>

- ・生徒の進路指導や人権教育に対する評価が高いのは特筆すべき点である。
- ・ホームページや五木分校新聞（分校ニュース）がわかりやすくとても良い。
- ・全職員で生徒の為に様々な取組みを行われていることがよくわかる。今後もきめ細やかな取組みを期待する。
- ・高い評価の部分、今後努力が必要な部分ともに納得します。
- ・A評価が多く、生徒個々へのサポート体制の充実が伺えます。
- ・小規模校としての特徴を最大限に生かし、地域に根ざした取組がなされていると思う。今後とも継続的な取組が大切ではないでしょうか。

## 2 教育活動その他の学校改善に向けた取組について

### (1) 学校経営について

- ・まず、入学者を確保することが必要でしょう。人吉方面からの一人でも多くの入学者を確保することが必要でしょう。分校ニュース、ホームページの活用も素晴らしく、学校パンフレットの中身や配付についても地域社会との連携が取れています。保育園、小学校、中学校との一貫性も見事でした。
- ・取組については適切であると思います。「地域に密着した教育活動の充実」については今後も更に進展していくことを期待しています。
- ・分校の情報発信内容が充実しわかりやすい。保護者や地域との連携が保たれている。今後とも地域密着型の信頼される学校情報を発信し続けてください。
- ・ホームページ拝見しました。更新も多く内容も充実しとても良かったです。保護者の協力も素晴らしいと思いました。
- ・『NEXT熊本賞』受賞おめでとうございます。我々評議員の誇りでもあります。
- ・ICTの活用等取組みが適切であると思います。
- ・様々な行事で保護者と地域と学校が協力して取り組んでいる様子が素晴らしい。
- ・分校ニュースやホームページで中学生に良い宣伝ができています。地域に根ざした秀麗会の活動も素晴らしい。
- ・小規模校の特色を十分に生かした、個に応じた教育が浸透している学校経営である。

### (2) 学力向上について

- ・小規模のメリットを生かし、個に応じた指導が出来ていると感じます。学び意欲の個人差等、中学校の指導のあり方も反省していきたいと思いました。
- ・評価値によると基礎学力は向上しつつあるようです。取組は適切と思いますが、学習意欲についての個人差をいかにして平均化させるか、そして欠点者0へどうつなげるかが課題でしょう。
- ・生徒一人一人への指導体制、学習意欲をあげる工夫等も見られとてもいいと思います。
- ・なかなか勉強しないですね。ご苦労を感じます。
- ・概ね適切であると思います。次年度へ向けて課題が解決されることを望みます。
- ・家庭学習の取組みが改善されるといいですね。
- ・小規模校のメリットで、教科担当の先生の細かい指導が行き届いていると思います。
- ・個々の生徒に応じた取組をされている。
- ・生徒個々の学力に応じた工夫がされている。
- ・個人差がある学習意欲の向上は大変だと思う。ステップアップ授業の中で基礎学力の向上を期待します。
- ・基礎学力定着の「ステップアップ」は大変有効である。家庭学習の定着が課題である。

### (3) キャリア教育について

- ・全職員および外部講師の指導により2学期中には3年生全員が進路を決定したことは高い評価です。職員や保護者の評価も高く継続した指導を期待します。
- ・取組は適切であると思います。3年生全員が進路が決定したことは素晴らしく、個々に対する課外や面接指導の成果であり、それが五木分校の魅力であると考えています。
- ・すでに2学期には3年生全員が進路決定をしていたということで先生方の適切な指導ができていたと思います。
- ・キャリアガイダンスの充実とともに個に応じた進路指導がしっかりと行われ早期に進路決定ができて良いと思います。
- ・子供は1年生ですが上級生を見ていると適切だと感じております。
- ・小規模校の一番秀れている点であり、今後も引き続き熱心なご指導をお願いします。

- ・個々の生徒に応じた取組をされている。
- ・生徒に対して一生懸命進路指導を実施されているのがわかる。
- ・一人一人に対応した指導は、すばらしい。今後も生徒の声を聴いて、御指導よろしく願います。
- ・外部講師を招聘しての講話や体験学習は有効。職員・保護者における学校評価も高い。

(4) 生徒指導について

- ・取組は適切であると思います。基本的な生活習慣の確立だけでなく生徒の主体的活動が充実していることは素晴らしいことと思います。
- ・少人数なのでマンツーマン的な指導ができ、指導に目が届くようです。学習や生活の記録を取らせることも有意義だったと思います。生活指導が必要な生徒に対しては、適切な指導において改善されました。学校行事への積極的参加により学校が活性化されました。
- ・年頃なので整容面での違反が出るのが当たり前です。難しい年頃でクラスメートとのトラブルもない方がおかしいです。きちっと指導されたことが大切です。思いでいっぱい卒業させてください。
- ・生徒会、部活動も全員参加でいいと思います。
- ・先生方は本当に大変なものによくやっていただいていると感謝しています。家庭でも生活習慣の確立等に努めていきたいと思います。
- ・基本的な生活習慣の確立は家庭の課題でもある。学校と協力しやっていきたい。
- ・特別指導が発生したとしてもそれは問題ではなく、その指導によりどれだけ成長できたかである。また、家庭による基本的な生活習慣の確立はとても重要である。

(5) 人権教育の推進について

- ・3者とも評価は高く取組は適切であると思います。支援会議、職員研修、合同運動会、月例集会、講話の実施等有効でした。
- ・スクールカウンセラーや小学校、中学校との連携も取れており、一人一人を大切にされた指導・支援が行われていると思います。
- ・職員研修もしっかりとやっておられて非常にいいと思います。
- ・生徒への具体的支援や理解を深めることができおり素晴らしい。命を大切にする心の育成において自分自身を大切にすることを理解してほしい。
- ・小規模校の特色を生かし一人ひとりに向き合った適切な指導がなされていると思います。
- ・地域のボランティアにも積極的に参加されるなど良い経験になっている。
- ・生徒一人ひとりの状況把握に努められ、適切に対応されている。
- ・生徒一人ひとりの実態把握により、外部機関とも連携しながら、生徒の人権に配慮した指導・支援が行われている。

(6) いじめの防止等について

- ・「心のアンケート」をはじめ健康相談やいきいき相談等で生徒の変化の早期発見に努め相談しやすい雰囲気作りが素晴らしいと思います。
- ・いじめ防止教育に対する生徒の評価が高く安心できる。
- ・アンケート結果を全職員が周知し、対応されている点はすばらしい。
- ・取組は適切で保護者も高い評価ですが、「生徒が先生に悩みを相談する」項目で一部生徒が低い評価をつけているのが気になります。分析、考察をお願いします。
- ・取組は適切であると思います。ただ、生徒の評価が少々低調のようです。これは「隠れいじめ」があるのかもしれませんが。ITの発達等によりいじめも多様化しています。常に情報収集に努めていただきたい。
- ・生徒一人一人の状況把握に努められ、適切に対応されている。
- ・健康観察やいきいき相談等を通じて、生徒の変化の早期発見に努め、全職員で個々の事例に対応できる。いじめ防止活動が適切に実行されている。
- ・いじめ案件が0は素晴らしい。これからも継続してほしい。

(7) 職員研修について

- ・多忙の中、時間を捻出された結果はここに出ています。職員の資質向上は必須であります。引き続き研修に努められ高い評価を維持してください。
- ・取組は適切であると思います。職員集団が良い雰囲気であることがうかがえます。大変良いことだと思います。

- ・少ない人数で調整が大変だと思いますが、各種研修会には数多く参加いただいて子供の学力アップにつなげていただければと思います。
- ・多くの校内研修をとおして取組の成果は十分出ており職員間の団結の強さを感じます。
- ・全員で不祥事防止に取り組んでおられて、安心しております。
- ・校内研修や校内でのコミュニケーションの取り合いは最高レベルだと思いますが、色々な意味での指向上のために校外での研修は必要だと思います。

### 3 その他

- ・評議員会の時に教頭先生の分校を語る言葉の1つ1つに熱意と愛情があふれていました。人は人に揉まれて社会性を身につけて人として強くなると思います。色んな所に連れて行って社会体験されてますがどんどんやっってください。五木の自然は大好きですが刺激がないと人は成長しません。目が輝く分校生を育ててください。
- ・ワラをもつかむ思いで入学させた保護者もいることでしょう。過去に中学校まで不登校だった女子生徒が入学し、3年間で欠席は風邪の1日だけで卒業し大学へ進学したのです。五木分校にはそれらを受け入れる「何か」があるのでしょうか。その「何か」を信じて暖かい気持ちで諸事取り組んでほしいです。今回も取組の成果が出ていることを嬉しく思います。先生方の賢明な取組に心から敬意を表します。
- ・地域に密着した教育、小規模校の強みを生かした教育が充実していることがよくわかりました。中学校長として進路指導の充実を図り、意欲を持って高校生活にのぞむ生徒をたくさん育成していかねばと強く思いました。
- ・五木分校は地域に根ざした教育ができるので、一人一人の成長の場としては素晴らしい環境にあると思います。
- ・生徒一人一人の個性がキラキラしています。その個性が自信と誇りになることを信じています。また、先生方個人の負担も大きいと思いますが、心身の健康管理には十分注意されてください。
- ・とても家庭的な雰囲気を感じます。冬場は寒さが厳しいので早めの暖房器具の使用をお願いします。
- ・日頃からホームページを見て、生徒の生き生きとした様子は伝わっておりました。今日、学校評価を見て、少人数の強みで一人ひとりに焦点をあてた見事な指導がわかりました。
- ・小規模校の特性を十分に生かした教育が出来ていると感じました。これからも小規模校のよさを発信できる五木分校になってほしいとおもいます。

## 5 総合評価

### 1 本年度の学校教育目標

アの目標は、本校綱領「礼節」「勤労」「進取」を基盤とした人吉高校としての目標（本校全日制・定時制・分校共通）であり、適切であった。

イ及びウの目標は、五木分校の特性に応じた目標であり、分校全職員が共通認識を持って取り組むことで、小規模校ならではの生徒一人一人に応じた教育の実践を図ることができた。また、地域と密に連携を取り合うことで、地域に根ざすことができた。

### 2 本年度重点目標

教育スローガン「一人一人が輝く分校生！」を掲げ、生徒一人一人に応じた適切な指導を行い、生徒を認め・ほめ・励ましなが一緒に取り組むことで、生徒が日々の教育活動で活躍する場面を作りだし、自己肯定感や自信に繋がる教育を実践することができた。

1「基礎学力の充実」では、基礎学力向上のための学校設定科目「ステップアップ」を充実させ、課題等の工夫改善と生徒の家庭学習の習慣化を図った。また、ICT活用授業を多く取り入れるなどわかりやすい授業の構築に努めた。定期考査前学習会の実施や個別指導の充実で、生徒一人一人への丁寧な学習指導を充実させることができた。

2「生徒指導の充実」では、保護者や地域との協力の下、生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、落ち着いた学校生活に繋げることができた。毎月の月例集会講話等を通して、規範意識の向上と他を思いやる態度を育むことができた。

3「進路指導の充実」では、キャリア教育の一環として、ジョブカフェやハローワーク等から外部講師を招聘し、進路実現に繋げた。また、キャリアカウンセラーと全職員による面接練習を導入し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることができた。さらに、「体験学習」を充実させることにより、達成感や自己成就感を味わわせ、生きる力を育み、自己肯定感に繋げることができた。



4 「多様な生徒への対応」では、毎朝の健康観察で生徒の心身の状態を把握すると共に、今年度も「いきいき相談（生徒と特別支援コーディネーターとの面談）」を実施し、生徒一人一人の悩み感を迅速に解消することができた。また、スクールカウンセラーや特別支援コーディネーターの協力を得て、生徒理解研修や支援会議を毎学期開催することで、全職員が共通理解を図り指導に役立てることができた。

5 「地域に根ざした特色ある取組の推進」では、保育園、小学校、中学校との連携、地域との協力体制強化を図ることで、異年齢交流や大人数での集団活動を体験させることができた。特に、五木村保・小・中・高合同大運動会では、最上級生としての役割を果たし、自覚、責任感、リーダーシップに繋がる主体的な活動を行うことができた。また、五木村駅伝大会や各種祭等の行事への参加、地域ボランティア活動、あいさつ運動等では、生徒会が中心となって、五木村に関わり、地域に貢献できる行事を推進することができた。また、毎月担当職員が管内中学校への訪問を行い、五木分校の教育活動を知らせると共に、相互理解と良好な協力関係を保つことができています。

### 3 自己評価総括

掲げた目標は概ね達成することができた。特に地域との連携や管内中学校への広報活動では大きな成果を得られた。また、人権教育、進路指導、いじめ防止への取組で高い評価を得ることができ、「生きる力」「主体的に動く」「他人を思いやる心」などの育成につながった。他にも、数値目標として実施回数を掲げた項目は全て実施できた。

これは学校教育目標達成に向けて全職員が一丸となり取り組んだ結果である。次年度以降も生徒の成長を第一に考え、分校の特色を生かし、地域と連携しながら学校の活性化に努力していきたい。

## 6 次年度への課題・改善方策

### (1) 「入学生徒数の増加」

#### <改善方策>

- ・五木村とのさらなる連携による魅力ある五木村作りへの貢献
- ・五木村内の保育所、小学校、中学校との連携及び合同行事の充実
- ・広報活動（ホームページ、分校ニュース等）の強化充実
- ・学習指導の充実と進路指導の徹底
- ・管内中学校との協力関係の強化（中学校訪問による情報交換）
  - ・体験入学・学校説明会の工夫

### (2) 「基礎学力の充実」

#### <改善方策>

- ・授業の充実（個に応じた指導の徹底、興味・関心、意欲を引き出す授業の実践）
- ・学校設定科目「ステップアップ」の充実（上位の段の設定、個別指導の徹底）
- ・家庭学習の習慣化
- ・学習課題の工夫と改善（個の進路希望に応じた学習指導）

### (3) 「キャリア教育の充実」

#### <改善方策>

- ・各学年の応じたキャリア教育の強化（ライフプランニング授業・インターンシップ等の充実）
- ・「体験学習」の充実（主体性、達成感・自己成就感、自己肯定感の醸成）
- ・個に応じた進路指導の充実（個別面談・個別指導の充実、自己表現力の育成、外部講師招聘）